

＊ 園長のひとりごと

今年の入園式も、昨年と同様保護者皆様のご理解とご協力のもと、2部構成で実施により新年度の始まりを迎える事が出来ました。

例年よりも雪解けも早く、春の到来も早いものと勝手に信じていると急に肌寒い日が続き、道東出張中に雪降る中で峠越えをさせて頂く事になりましたが、ようやく4月末になって春らしい日が続くようになりました。

4月26日には、すみれ組幼年消防隊発足式が旭川市消防本部より澤田消防指令長にご臨席いただき、最初の活動として近隣スーパーでの火災予防啓蒙チラシ配布を行うことができました。それぞれのクラスも、新年度特有のソワソワした期間を過ぎ、計画に沿った活動へと移行して参りますので、子どもたちの成長を温かく見守って頂きますようお願い申し上げます。

ここ数年、日本保育協会という保育団体の仕事で、過疎地域保育対策の活動を行っており地域の実情をまとめ上げ、国や都道府県、国会議員などへの要望・陳情活動行っておりますが、その中でも4年間に渡るコロナ禍により人口減少のスピードが7年～8年早まり、一時期頻繁に使われました「合計特殊出生率」も7年連続で下がり（R5発表 1.26）、令和4年度に生まれた赤ちゃんも80万人を下回り、更には消滅可能性自治体のデータも更新されるなど衝撃的な数字の公表が続いています。

遅ればせながら国では、子ども・子育ての専門の官庁とも言える「こども家庭庁」が昨年創設され、各種手当や子育てサービスを見直す「異次元の少子化対策」が今年度本格的に動き出すものと思います。子育て世帯にとって良い制度となり、子育てがより楽しく感じられるようになる事を願って止みません。

去年は、この連休明けからのコロナ対策解除でしたが、今年はまだ既に自由な観光を楽しんでいらっしゃる方々を見かけることも多く、保護者の皆さまの中にも今年のゴールデンウィークの計画を立てていらっしゃるのではないかと思います。中には10連休を取れる方もいるとかニュースにはありましたが…入園式以来の初めての連休を間もなく迎えることとなりますが、この機会に保護者の皆様もゆったりとした時間をお楽しみ頂き、ご家族皆様でリフレッシュされてみてはいかがでしょうか。

子どもたちとご家族様に、笑顔いっぱい思い出が残りますように・・・

